

「国際電気通信連合無線通信総会への対処について」 答申概要

「国際電気通信連合 (ITU) 無線通信総会 (RA) への対処について」

(平成6年1月24日付け電気通信技術審議会諮問第1号)

国際電気通信連合無線通信部門 (ITU-R) 無線通信総会 (RA) への対処として

(1) RAに提出される勧告案等に対する評価

(2) RAの研究課題の望ましい作業計画

について答申する。

RA-07概要

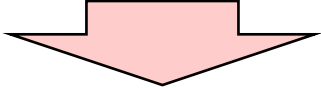
- 開催日、場所:2007年10月15日～19日、スイス国ジュネーブ
- 参加資格:主管庁(191加盟国)及び無線通信部門セクターメンバー(282メンバー)
- 主な議題:
 - ①SG会合から提出された勧告案等の承認
 - ②2008年以降の次研究会期における研究体制の決定
 - ③次研究会期における研究課題の承認

RA-07での主な論点

I. 勧告案等の承認

- ・PLT(電力線通信)より漏えいする電磁波からの短波放送の保護の条件に関する勧告案
- ・IMT-2000の無線インタフェースにWiMAXを追加する勧告案
- ・IMT-Advancedの標準化のプロセスに関する決議案 等

II. 次研究会期の体制

- ・ITU-Rでは、これまで各SGの専門性を活かし、無線分野の標準を多数策定。
 - ・一方、近年、BWAのように、従来の固定業務と移動業務が融合した形で用いられるような無線システムが出現。既存のSG区分に基づいた研究方法では非効率的との指摘。
 - ・専門家が複数の会合に出席する必要があり、参加者が負担を感じている。
- 
- ・これまでの研究成果を踏まえ、最新の技術動向を取り入れつつ、一層効率的に研究に取り組む必要。
 - ・適切なSGに多くの専門家が集まり、活発な議論が行われる環境の構築が重要。

III. 次研究会期における研究課題

- ・IMT-2000及びその後継システム(IMT-Advanced)についての研究
- ・放送業務等に使用する超高細度画像の規格についての研究 等

I. RA-07で承認が求められる勧告案等

	文書	勧告・決議名	関連SG/WP/課題	種別
勧 告 案	SF.[4-9S/HAPS-PLIMIT]	47.2-47.5GHz及び47.9-48.2GHz帯において宇宙局受信機との周波数共用を促進するためのHAPS利用者端末の電力決定手法	SG4, SG9/WP4-9S/ Q.251/4, Q.218/9	新規
	S.1587-1	FSSに割り当てられている、5925-6425 MHz および14-14.5 GHzにおける、FSS衛星を用いた船上地球局の技術特性について	SG4/WP4A Q.254/4	改訂
	Doc. 6/229 rev.1	PLTシステムからの影響に対する80MHz以下のLF, MF, HFおよびVHF帯の放送システムの保護要求	SG6/WP6E Q.32/6	新規
	RS.516-1	地球観測および気象衛星の能動センサと、無線評定業務との共用	SG7/WP7C/Q.140/7	削除
	SA.1071	宇宙科学業務と固定衛星業務による13.75-14.0GHz帯の利用	SG7/WP7B/ 決議112 (WRC92)	削除
	SA.1156	低軌道衛星の可視統計計算手法	SG7/WP7B	削除
	M.1036-2	806-960MHz、1710-2025MHz、2110-2200MHz、2500-2690MHzにおけるIMT-2000の陸上移動業務に関する周波数配列	SG8/WP8F/ Q229/8	改訂
	M.[8B.GBAS]	87-108MHz帯におけるFM音声放送と108-117.975MHz帯におけるGBASの両立性	SG8/WP8B/ 決議413 (WRC03)	新規
	M.1457-6	IMT-2000の無線インタフェースに関する詳細仕様	SG8/WP8F	改訂
	M.1580-1	IMT-2000の基地局の不要輻射基準	SG8/WP8F/Q229-1/8	改訂
	M.1581-1	IMT-2000の移動局の不要輻射基準	SG8/WP8F/Q229-1/8	改訂
決 議 案	M.[IMT.NAME]	IMTの名称	SG8/WP8F/Q229-1/8	新規
	M.[IMT.PRINCIPLES]	IMT-Advancedにおける開発プロセスの原則	SG8/WP8F/Q229-1/8	新規

対処方針

- RAにおいて審議される勧告案等は、我が国としてもこれまでSGでの検討に参加し、策定に貢献した成果。我が国の意見が取り入れられているものを中心に基本的に支持。役割を終えたものについては、削除を支持。
- ただし、PLTシステム及びIMT-2000に関する勧告案については、各国の見解や解決すべき技術課題を十分考慮し、状況に応じて修正・支持等の対処をする。

II. 次研究会期の研究体制について

最新の技術動向を考慮し、多くの専門家が参加しやすい構成を検討。非公式会合を通じて各国の意見を集約し、以下の案を中心に議論が進められる予定。

SG1 周波数計画、利用、
技術、分配及び監視

SG3 電波伝搬

SG7 科学業務

SG6 放送業務(地上放送、**衛星放送**) 副議長 熊田氏(NHK)

SG4 固定衛星業務 副議長 阿部氏(KDDI)

**SG8 移動業務、無線測位業務、アマチュア業務
及び関連する衛星業務** 副議長 水池氏(KDDI)

SG9 固定業務 副議長 橋本氏(NTTドコモ)

・最新の技術動向に
・技術進展等により既存の区分では活動が非効率
・応じた構成が必要

SG1(SGA) 周波数計画、利用、
技術、分配及び監視

SG3(SGB) 電波伝搬

SG7(SGE) 科学業務

SG6(SGF) 放送業務(地上放送)

再編

Study Group C (地上系)

**移動業務、固定業務、
アマチュア業務、無線測位業務**

Study Group D (衛星系)

**移動衛星業務、測位衛星業務、
放送衛星業務、固定衛星業務**

* 作業量の分散のため、アマチュアや海上、
レーダー等を扱う新SGを設置する議論もあり

対処方針

活動の効率性・技術動向への対応の観点から適当な構成と考えられるため、支持する。

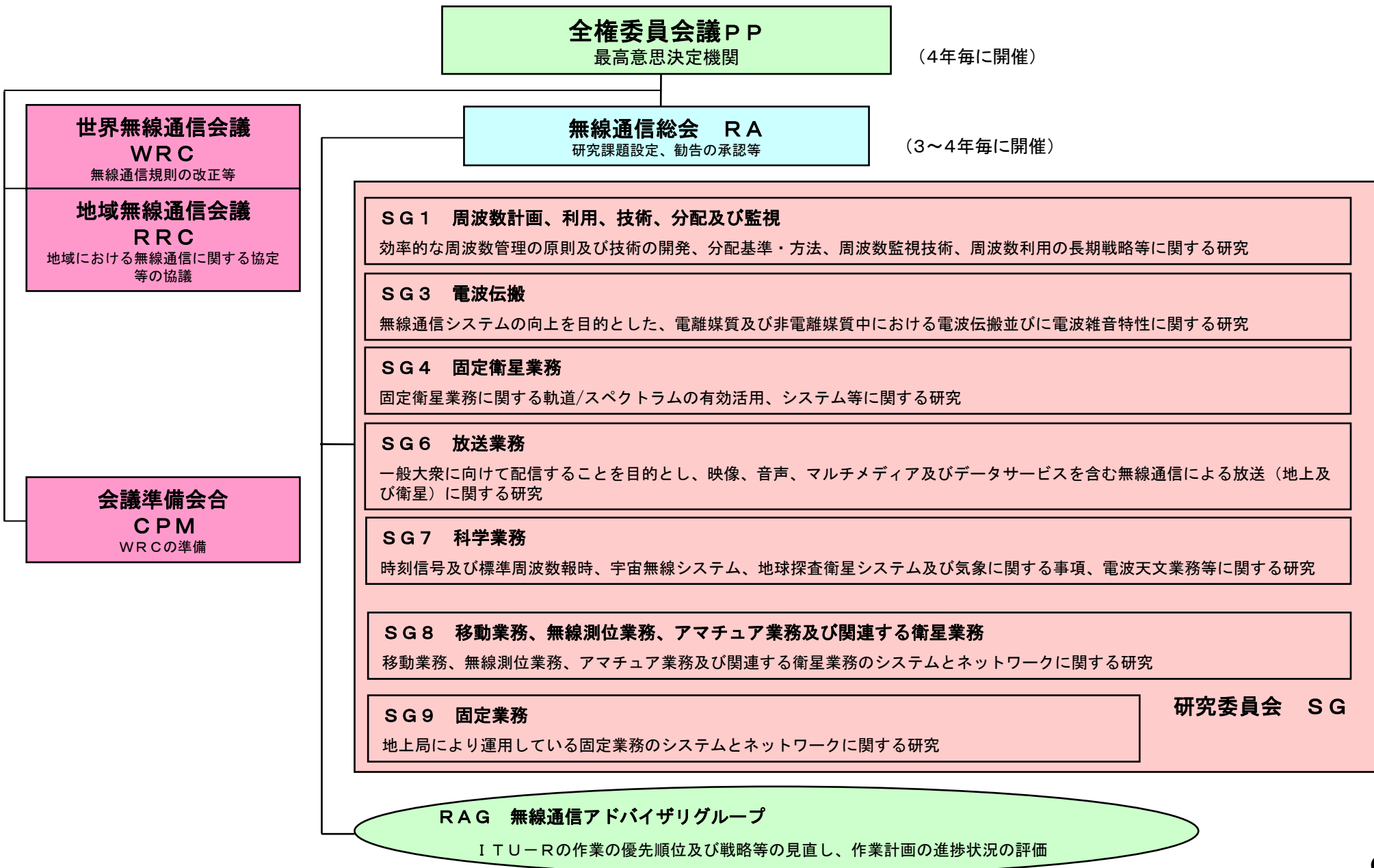
Ⅲ. 次研究会期の主な研究課題例

電波伝搬関連	近距離無線アクセスや無線LAN通信などの近距離通信システム設計のために適切な伝搬モデルの構築や、室内の障害物の電波伝搬への影響等を研究する。（研究課題 211-4/3）
地上放送関連	放送及びコンピュータグラフィックスや医療等の業務に使用する超高細度画像（EHRI: Extremely High Resolution Imaging）のアスペクト比や画像処理等の規格について研究する。 （研究課題 40-6）
地上通信関連	1. IMT-2000の高度化に関する技術・運用上の課題、IMT-2000の後継システムに関する要求条件、アプリケーション、端末のグローバルサーキュレーション等について研究する。（研究課題 229/8） 2. 広帯域無線アクセスシステムの技術及び運用要求条件、特性について研究する。（研究課題238/8, 236/9）

対処方針

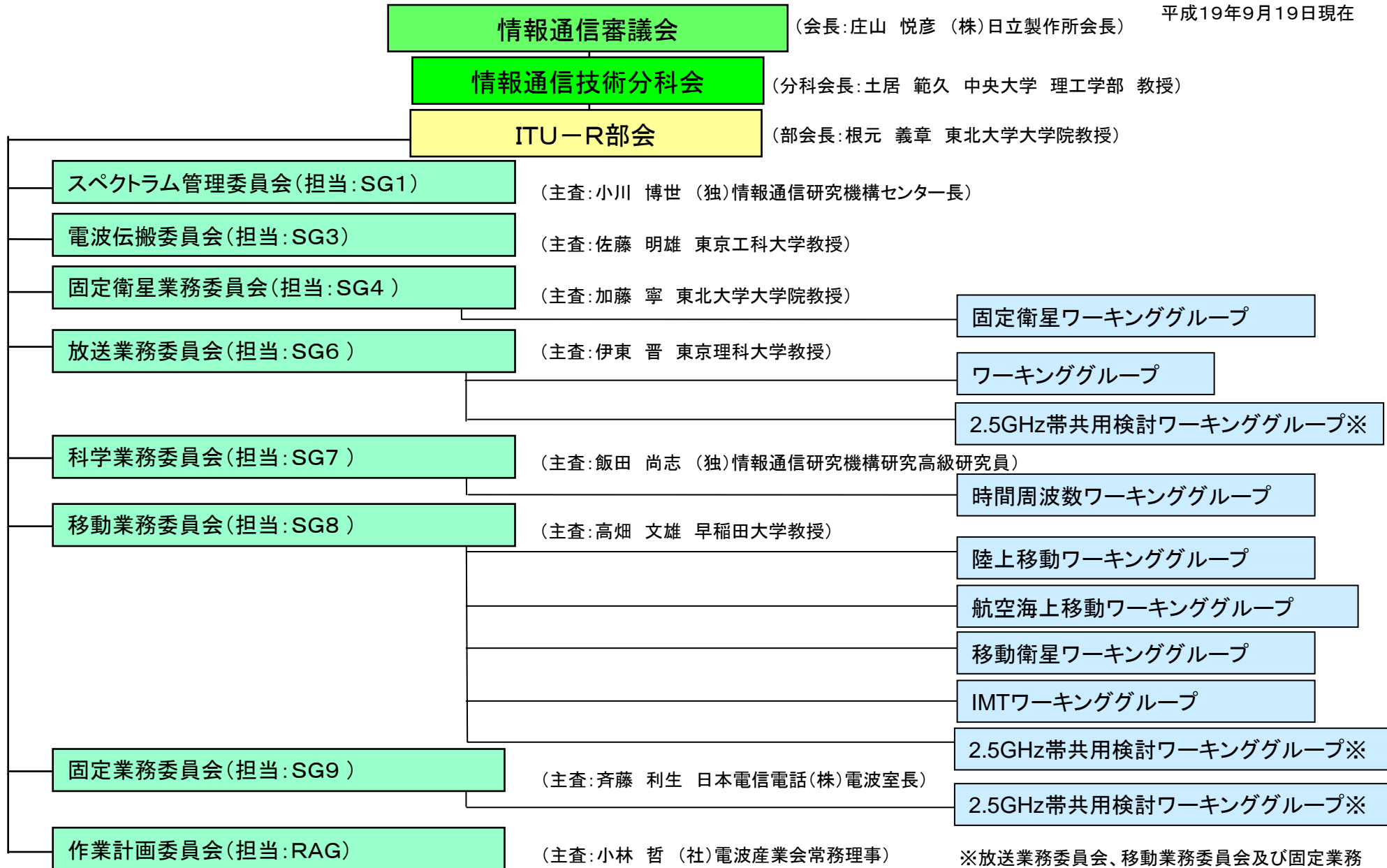
無線システムの発展・周波数利用効率向上の観点から適当な課題と考えられるため、支持する。

(参考) ITU-Rの構成



(参考) ITU-Rへの対応のための国内審議体制

平成19年9月19日現在



※放送業務委員会、移動業務委員会及び固定業務委員会に合同ワーキンググループとして設置